

人口動態や疾病構造、医療提供体制の変化等を踏まえた到達目標の在り方に関する研究

分担研究者：高橋 理（聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター）

1. 人口動態や疾病構造の変化と習得すべき疾患と症状について

- 平成 16 年に新医師臨床研修制度が導入された時期から現在までに疾病構造の変化を調査するために、平成 26 年我が国の人口動態（厚生労働省大臣官房統計情報部）を参考に、死因別にみた死亡数の年次推移参考に、頻度の高い順に上位 10 の疾患を平成 14 年と平成 24 年を比較検討した。
- 患者数の年次推移を評価するために、平成 14 年と平成 23 年患者調査を基に上位 20 位の疾患を検討した。
- 経験すべき症状をここ 10 年の年次推移を評価するために、平成 15 年と平成 25 年 10 月に 1 か月間健康日記※を用いて 1 か月間の自覚した症状数を調査し比較検討した。

※健康日記調査

【対象】企業調査パネル（2003 年：日本統計研究所、2013 年：日本能率協会総合研究所）において、年齢、性別、居住地別の構成比率が国勢調査に準拠するよう層別サンプリングを行い抽出した。

【調査期間】平成 15 年および平成 25 年 10 月 1 日～10 月 31 日

【調査手法・対象】症状と症状への対応（外来受診、市販薬服用等）について健康日記帳に記録、回収。回答者は、2003 年：3,658 名、2013 年：4,039 名。

調査結果については以下のとおり。（集計結果については別紙）

- ・死因別にみた死亡数の年次推移（表 1）：10 年前と比べ上位死因の変化はないが、増加率が異なっていた。増加率が高かった疾患は、悪性腫瘍（増加率 18.5%）、心臓疾患（増加率 30.4%）、肺炎（増加率 41.8%）自殺数は減少を示した（-11.7%）。
- ・総患者数 患者調査から（表 2_1）：総患者数の上位は、悪性腫瘍、生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症）、心疾患、脳血管障害が占めた。精神疾患（気分障害、うつ病、神経症性疾患）が上位 20 位内に上昇し、特にうつ病は 10 年前に比べ総患者数が約 60% 増加した。アルツハイマー病（増加率 311%）は、患者数は上位ではないが、増加率が高かった（表 2_2）。
- ・健康日記調査から：症状では、平成 15 年と平成 25 年の頻度の順位はほとんど変わらなかった（表 3_1）。たとえば、到達目標の症状の一つであるリンパ節腫脹は平成 25 年の症状順位は 198 位であった。一方、到達目標の症状にはないが、平成 25 年症状頻度の高かったものは、くしゃみ（順位 2 位）、かゆみ（順位 11 位）などであった（表 3_2）。全国調査による症状の頻度では、10 年前と比べほとんど変化が見られず、到達目標の各症状は上位を占めており内容は妥当と考えられるが、一部の症状は頻度が高いものの到達目標のなかに含まれないものもあり、臨床研修の基本理念において、一般的診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるようとあり、頻出する症状の鑑別診断を学ぶ診断推論を学ぶ上で重要な資料になると考えられる。

2. 研修医の臨床知識・技術・態度の習得状況について

- 2年次研修医を対象に質問票を用いて自記式アンケート調査を行い、98項目の基本的臨床能力（知識、技術、態度に関する項目）習得度と85項目の症例経験数（症状、病態、医療記録など）について評価を行った。

【対象】平成26年3月末に臨床研修を修了した全研修医

【調査期間】平成26年3月～4月

【調査手法・対象】研修医に対し、到達目標に定められた98項目の臨床知識等の習得状況及び85項目の経験症例数について、自記質問票を送付し、回収。

- 調査結果の概要については以下のとおり。
 - ・回答者：5905名（大学病院：2299名、臨床研修病院：2948名）
 - ・全体と大学病院、一般病院別、また、弾力プログラムと継続プログラム別の平成16年度の新医師研修制度必修化前（平成14年）から平成26年度までの研修医の臨床知識・技術・態度の習得状況の推移を示したところ、「確実にできる、自信がある」「だいたいできる、たぶんできる」と回答した研修医の割合は、前年度とは概ね変わらず、必修化以降の期間を通して全体として概ね上昇傾向にあった。
 - ・23項目が研修病院のほうが大学病院よりも自信をもってできる割合が多かった。13項目が大学病院のほうが研修病院より自信をもってできると回答した割合が多かった。
 - ・その他詳細については、報告書を参照。

表1 死因順位別死亡数の推移

	平成14年 順位	平成14年 死亡数	平成24年 順位	平成24年 死亡数	増加率 (%)
悪性新生物	1	304568	1	360963	18.5
心疾患	2	152518	2	198836	30.4
肺炎	4	87421	3	123925	41.8
脳血管疾患	3	130257	4	121602	-6.6
老衰	7	22682	5	60719	167.7
不慮の事故	5	38643	6	41031	6.2
自殺	6	29949	7	26433	-11.7
腎不全	8	18185	8	25107	38.1
慢性閉塞性肺疾患	10	13021	9	16402	26
肝疾患	9	15490	10	15980	3.2

表2_1 疾病の総患者数の推移（単位：千人）

疾病	平成14年 順位	平成14年 総患者数	平成23年 順位	平成23年 総患者数	増加率 (%)
高血圧性疾患	1	6985	1	9067	29.
糖尿病	2	2284	2	2700	18.2
歯の補てつ	5	1420	3	2024	42.5
う蝕（虫歯）	4	1480	4	1945	31.4
高脂血症	6	1391	5	1886	35.6
心疾患（高血圧性のものを除く）	3	1667	6	1612	-3.3
悪性新生物（がん）	9	1280	7	1526	19.2
関節症	13	864	8	1310	51.6
脳血管疾患（脳卒中）	7	1374	9	1235	-10.1
喘息	10	1069	10	1045	-2.2
白内障	8	1292	11	962	-25.5
気分[感情]障害（躁うつ病を含む）	16	711	12	958	34.7
脳梗塞	11	1064	13	924	-13.2
急性上気道感染症	14	812	14	842	3.7
虚血性心疾患	12	911	15	756	-17.0
緑内障	20	558	16	723	29.6
うつ病	ランク外	441	17	704	59.6
神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	ランク外	500	18	571	14.2
胃炎及び十二指腸炎	17	704	19	571	-18.9
狭心症	18	691	20	558	-19.2

表 2_2 増加率の高い疾病と低い疾病の推移（単位：千人）

増加率の高い疾病	平成 14 年 総患者数	平成 23 年 総患者数	増加率
敗血症	1	5	400.0%
アルツハイマー病	89	366	311.2%
結節性多発（性）動脈炎	2	7	250.0%
離断性骨軟骨炎	2	6	200.0%
老衰	1	3	200.0%
中枢神経系の悪性新生物（脳悪性新生物）（悪性脳腫瘍）	3	7	133.3%
胆管炎	3	7	133.3%
低身長，他に分類されないもの	7	16	128.6%
発疹を伴うエンテロウイルス性小水疱性口内炎（手足口病）	2	4	100.0%
急性副鼻腔炎	73	146	100.0%
増加率の低い疾病			
十二指腸潰瘍	110	42	-61.8%
部位不明の消化性潰瘍	24	9	-62.5%
遺伝性第Ⅷ因子欠乏症	3	1	-66.7%
老人性難聴	3	1	-66.7%
扁桃周囲膿瘍	3	1	-66.7%
卵管炎及び卵巣炎	7	1	-85.7%

表3_1 到達目標にある頻度の高い症状と調査による症状頻度の比較

頻度の高い症状 (臨床研修到達目標)	健康日記症状	2003年健康日記調査 ランキング	2013年健康日記調査 ランキング	2013年健康日記調査 ランキング_クリニック受診	2013年健康日記調査 ランキング_医療機関受診 (左のクリニック受診を含む)
1 全身の倦怠感	全身脱力/倦怠感	8	7	38	17
2 不眠	睡眠障害	64	43	75	71
3 食欲不振	食欲不振	78	81	227	82
4 体重減少、体重増加	-	-	-	-	-
5 浮腫	-	-	-	-	-
6 リンパ節腫脹	リンパ節腫脹	124	198	193	167
7 発疹	発疹(全体)	75	71	45	52
8 黄疸	-	-	-	-	-
9 発熱	発熱	11	13	8	7
10 頭痛	頭が痛い	5	3	9	6
11 めまい	めまい	36	26	16	15
12 失神	-	-	-	-	-
13 痙攣発作	痙攣	81	86	224	111
14 視力障害、視野狭窄	-	-	-	-	-
15 結膜の充血	眼の充血	69	60	47	60
16 聴覚障害	耳の間こえが悪い	151	110	62	94
17 鼻出血	鼻血	73	98	230	110
18 嘔声	発声障害	52	94	79	105
19 胸痛	胸部の痛み	66	69	74	45
20 動悸	動悸	80	105	58	72
21 呼吸困難	呼吸困難	82	67	223	61
22 咳・痰	咳	2	4	1	2
23 嘔気・嘔吐	嘔気/嘔吐	33	47	205	23
24 胸やけ	胸やけ	91	55	42	64
25 嚥下困難	嚥下異常	ランク外	165	98	240
26 腹痛	腹部全体の疼痛/激痛	13	12	17	14
27 便通異常(下痢、便秘)	下痢	23	24	20	28
28 腰痛	腰が痛い	3	1	4	3
29 関節痛	関節が痛い	46	25	49	43
30 歩行障害	足が痛い/足の指が痛い	9	10	3	1
31 四肢しびれ	しびれる/異常感覚/無感覚	19	15	26	22
32 血尿	血尿	ランク外	204	168	184
33 排尿障害	排尿障害	90	59	71	54
34 尿量異常	頻尿	114	76	203	88
35 不安・抑うつ	抑うつ感	62	95	76	109

表3_2 到達目標にない平成25年度症状頻度

上記にない2013年トップ20
2 くしゃみ
5 首が痛い/肩こり
6 膝が痛い
8 喉が痛い
9 肩が痛い
11 かゆみ
14 手が痛い/手指が痛い
16 筋肉が痛い/筋肉痛
17 その他の目の症状
18 ふくらはぎが痛い/ふとももが痛い
19 背中が痛い
20 腕が痛い

上記にない2013年トップ20 2013クリニック受診
2 鼻炎
5 膝が痛い
6 喉が痛い
7 歯が痛い
10 首が痛い/肩こり
11 高血圧症(全般)
12 歯や歯肉の疾患
13 かゆみ
14 耳なり
15 その他の目の症状
18 肩が痛い

上記にない2013年トップ20 2013医療機関受診
4 鼻炎
5 膝が痛い
8 喉が痛い
9 歯が痛い
10 かゆみ
11 首が痛い/肩こり
12 健康維持/予防
13 肩が痛い
16 その他の目の症状
18 くしゃみ
19 歯や歯肉の疾患
20 胃痛/胃が痛い

(参考)

臨床研修 到達目標	平成23年10月 患者調査					
3 経験が求められる疾患・病態	患者調査傷病分類	推計入院患者数 (千人)	推計外来患者数 (千人)	入院受療率(人口 10万対)	外来受療率(人口 10万対)	総患者数 (千人)
(1) 血液・造血器・リンパ網内系疾患						
B①貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血）	鉄欠乏性貧血	0.9	11.5	1	9	91
	その他の貧血	2.6	5.1	2	4	47
②白血病	白血病	4.6	2.3	4	2	30
③悪性リンパ腫	ホジキン病	0.2	0.2	0	0	1
	非ホジキンリンパ腫	6.9	5.5	6	4	54
④出血傾向・紫斑病（播種性血管内凝固症候群：DIC）	出血性の病態並びにその他の血液及び造血器の疾患	2.7	4.3	2	3	43
(2) 神経系疾患						
A①脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）	脳梗塞	104.7	82.9	83	66	924
	脳内出血	43.1	14.3	34	11	152
	くも膜下出血	11.8	2.9	9	2	36
	(参考)一過性脳虚血発作及び関連症候群	1	2.3	1	2	30
②認知症疾患	アルツハイマー病	41	32.3	33	26	366
	血管性及び詳細不明の認知症	39	12.3	31	10	146
③脳・脊髄外傷（頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫）	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	0.6	1.3	0	1	7
	頭蓋内損傷	11.6	3.1	9	3	38
④変性疾患（パーキンソン病）	パーキンソン病	19.4	13.2	15	10	141
⑤脳炎・髄膜炎	中枢神経系の炎症性疾患	1.6	0.6	1	0	6
	髄膜炎	0.6	0.1	0	0	2
	(参考)脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	14.3	9.3	11	7	76
(3) 皮膚系疾患						
B①湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）	接触皮膚炎	0	26.1	0	21	166
	アトピー性皮膚炎	0.1	36.7	0	29	369
B②蕁麻疹	じんま疹	0.1	20.9	0	17	174
③薬疹	—	—	—	—	—	—
B④皮膚感染症	皮膚及び皮下組織の感染症	3.6	19.3	3	15	80
	(参考)ざ瘡<アクネ>	0	13.5	0	11	124
	(参考)皮膚糸状菌症	0	25.8	0	21	274
(4) 運動器（筋骨格）系疾患						
B①骨折	頸部、胸部及び骨盤の骨折(脊椎を含む)	22.1	22.3	18	18	142
	大腿骨の骨折	20	3.1	16	2	38
	その他の四肢の骨折	35.4	54.1	28	43	277
	多部位の骨折	2.9	2	2	2	14
	部位不明の骨折	4.5	13.8	4	11	64
B②関節・靭帯の損傷及び障害	脱臼、捻挫及びストレイン	4.2	86.6	3	69	254
	関節症	13.9	239.5	11	191	1310
	膝内障	0.3	4.4	0	4	19
	関節痛	0.1	4.1	0	3	18
	その他の関節障害	1.6	6.8	1	5	31
	肩の傷害<損傷>	0.2	64	0	51	279
	骨粗しょう症	0.8	53.9	1	43	439
B③骨粗鬆症	脊椎障害(脊椎症を含む)	15.7	288.4	13	230	1325
B④脊柱障害（腰椎椎間板ヘルニア）	椎間板障害	3.9	99.1	3	79	432
	(参考)軟部組織障害	10.4	40.1	8	32	192
	(参考)頸腕症候群	0.1	25.8	0	21	106

臨床研修 到達目標	平成23年10月 患者調査					
3 経験が求められる疾患・病態	患者調査傷病分類	推計入院患者数 (千人)	推計外来患者数 (千人)	入院受療率(人口 10万対)	外来受療率(人口 10万対)	総患者数 (千人)
(5) 循環器系疾患						
A①心不全	心不全	30.7	22.1	24	18	252
B②狭心症、心筋梗塞	狭心症	9	45.6	7	36	558
	急性心筋梗塞	4.2	3.3	3	3	41
	冠動脈硬化症	0.2	0.5	0	0	5
	陳旧性心筋梗塞	1.7	8.1	1	6	110
③心筋症	心筋症	1	3.3	1	3	44
B④不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）	不整脈及び伝導障害	6.5	38	5	30	453
⑤弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）	—	—	—	—	—	—
B⑥動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）	動脈硬化（症）	3	6.3	2	5	58
	大動脈瘤及び解離	4.2	3	3	2	36
⑦静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）	静脈炎、血栓（性）静脈炎並びに静脈の塞栓症及 下肢の静脈瘤	0.9	2	1	2	22
	下肢の静脈瘤	0.5	2.7	0	2	26
A⑧高血圧症（本態性、二次性高血圧症）	本態性（原発性）高血圧（症）	6.1	657.1	5	523	8986
	高血圧性心疾患	0.3	3.9	0	3	50
	高血圧性腎疾患	0.1	0.2	0	0	2
	高血圧性心腎疾患	0	0	0	0	0
	二次性高血圧症	0.5	2.3	0	2	30
(6) 呼吸器系疾患						
B①呼吸不全	—	—	—	—	—	—
A②呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）	急性鼻咽頭炎[かぜ]＜感冒＞	0.1	30.1	0	24	101
	急性喉頭炎及び気管支炎	0	4.2	0	3	17
	その他の急性上気道感染症	0.6	118	0	94	360
	肺炎	38.3	12	31	10	79
	急性気管支炎	1.8	116.9	1	93	365
	急性細気管支炎	0.1	0.5	0	0	2
B③閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）	喘息	4.4	129.7	3	103	1045
	気管支拡張症	0.3	1.5	0	1	19
	肺塞栓症	0.6	0.7	1	1	8
④肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）	—	—	—	—	—	—
⑤異常呼吸（過換気症候群）	—	—	—	—	—	—
⑥胸膜、縦隔、横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）	気胸	1.6	0.7	1	1	5
⑦肺癌	気管、気管支及び肺の悪性新生物	19.3	15.4	15	12	138
	（参考）慢性閉塞性肺疾患	7.9	19.8	6	16	220
	（参考）間質性肺疾患	4.2	3	3	2	38
(7) 消化器系疾患						
A①食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）	食道静脈瘤	0.8	0.2	1	0	3
	胃の悪性新生物	14.9	19.2	12	15	186
	胃潰瘍	3.6	34.6	3	28	355
	十二指腸潰瘍	1.3	3.8	1	3	42
	部位不明の消化性潰瘍	0.1	0.7	0	1	9
	胃炎及び十二指腸炎	0.7	60.9	1	49	571
B②小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻）	腸閉塞	7.6	1.5	6	1	20
	虫垂の疾患	1.9	1	2	1	6
	痔核	1.2	13.1	1	10	116
	裂肛及び痔瘻	0.5	3.8	0	3	26
	（参考）結腸の悪性新生物	12.1	16.6	10	13	159
	（参考）直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	7.2	7.3	6	6	74
	（参考）潰瘍性大腸炎	1.3	4.7	1	4	64
	（参考）過敏性腸症候群	0.1	4.5	0	4	49

臨床研修 到達目標	平成23年10月 患者調査					
3 経験が求められる疾患・病態	患者調査傷病分類	推計入院患者数 (千人)	推計外来患者数 (千人)	入院受療率(人口 10万対)	外来受療率(人口 10万対)	総患者数 (千人)
③胆嚢・胆管疾患（胆石、胆嚢炎、胆管炎）	胆石症	6.3	5	5	4	51
B④肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物	胆のう炎	3	0.7	2	1	10
	B型ウイルス肝炎	0.3	4.6	0	4	43
	C型ウイルス肝炎	1.2	27.8	1	22	163
	その他のウイルス肝炎	0	0.9	0	1	4
	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	0.6	19.8	1	16	116
	肝硬変(アルコール性のものを除く)	3.3	8	3	6	56
	肝及び肝内胆管の悪性新生物	7.9	6.1	6	5	52
	アルコール性肝疾患	1.5	4.1	1	3	33
⑤膵臓疾患（急性・慢性膵炎）	急性膵炎	1.8	0.8	1	1	8
	慢性膵炎	0.7	2.1	1	2	24
	(参考)膵の悪性新生物	5.2	3.7	4	3	34
B⑥横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）	単径ヘルニア	2.4	2	2	2	17
	その他のヘルニア	1.1	1.4	1	1	14
(8) 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む。)疾患						
A①腎不全（急性・慢性腎不全、透析）	慢性腎不全	26.4	115.6	21	92	343
	その他の腎不全	1.9	0.6	2	0	5
②原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）	急性及び急速進行性腎炎症候群	0.2	0.3	0	0	3
	ネフローゼ症候群	1.2	1.6	1	1	22
③全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎症）	—	—	—	—	—	—
B④泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症）	尿路結石症	1.9	7.4	2	6	63
	膀胱炎	0.5	12.1	0	10	65
	(参考)膀胱の悪性新生物	4.2	5.7	3	5	58
(9) 妊娠分娩と生殖器疾患						
B①妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）	正常妊娠・産じよくの管理	3.6	36.4	3	29	404
	自然流産	0	0.5	0	0	3
	医学的人工流産	0.1	0.3	0	0	1
	その他の流産	0.3	1.1	0	1	7
	妊娠高血圧症候群	0.4	0.2	0	0	2
	妊娠早期の出血(切迫流産を含む)	1.3	4.9	1	4	33
	前置胎盤、胎盤早期剥離及び分娩前出血	0.2	0.1	0	0	1
	その他の胎児及び羊膜腔に関連する母体のケア	6.4	3.6	5	3	37
	早産	0.1	0	0	0	1
	分娩後出血	0.1	0	0	0	0
	単胎自然分娩	5.7	1.2	5	1	18
	その他の妊娠及び分娩の障害及び合併症	2.9	1.4	2	1	14
	主として産じよくに関連する合併症及びその他の	0	0.7	0	1	5
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	3.8	1.2	3	1	19
	出産外傷	0	0.1	0	0	0
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	1.3	0.4	1	0	5
	周産期に特異的な感染症	0.2	0.1	0	0	0
	(参考)女性不妊症	0.1	16.2	0	13	110

臨床研修 到達目標	平成23年10月 患者調査					
3 経験が求められる疾患・病態	患者調査傷病分類	推計入院患者数 (千人)	推計外来患者数 (千人)	入院受療率(人口 10万対)	外来受療率(人口 10万対)	総患者数 (千人)
②女性生殖器及びその関連疾患（月経異常（無月経を含む。）、不正性器出血、更年期障害 外陰・膣・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍）	月経障害	0	6.9	0	6	60
	閉経期及びその他の閉経周辺期障害	0	11.3	0	9	105
	子宮頸(部)の炎症性疾患	0	1.1	0	1	8
	その他の女性骨盤臓器の炎症性疾患	0.3	6.7	0	5	39
	乳房の悪性新生物	5.5	24.2	4	19	194
	子宮頸(部)の悪性新生物	1.5	3.2	1	3	25
	子宮体(部)の悪性新生物	1.4	2.6	1	2	24
	子宮の部位不明の悪性新生物	0.3	0.8	0	1	6
	卵巣の悪性新生物	2.4	2.8	2	2	24
	その他の女性生殖器の悪性新生物	0.4	0.3	0	0	3
	卵巣機能障害	0	9.4	0	7	77
	(参考)子宮平滑筋腫	1.9	10.4	1	8	95
	(参考)子宮内膜症	0.3	4	0	3	52
	B③男性生殖器疾患（前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍）	前立腺肥大(症)	1.5	30.3	1	24
	前立腺の悪性新生物	5.6	17.7	4	14	181
	その他の男性生殖器の悪性新生物	0.3	0.3	0	0	3
(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患						
①視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）	—	—	—	—	—	—
②甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）	甲状腺中毒症	0.3	10	0	8	133
	甲状腺炎	0.1	5	0	4	59
	(参考)甲状腺の悪性新生物	1	2.7	1	2	29
③副腎不全	—	—	—	—	—	—
A④糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）	インスリン依存性糖尿病	3.2	16.3	3	13	208
	インスリン非依存性糖尿病	11.2	122.3	9	97	1663
	その他の糖尿病	9.4	69.9	7	56	826
B⑤高脂血症	高脂血症	0.4	148.7	0	118	1886
⑥蛋白及び核酸代謝異常（高尿酸血症）	痛風	0.1	9.4	0	8	114
(11) 眼・視覚系疾患						
B①屈折異常（近視、遠視、乱視）	屈折及び調節の障害	0.1	41.7	0	33	304
B②角結膜炎	結膜炎	0	32	0	25	237
	角膜炎	0.1	11.8	0	9	84
B③白内障	白内障	7.5	84	6	67	962
B④緑内障	緑内障	0.7	49.2	1	39	723
⑤糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化	網膜血管閉塞症	0.1	5.1	0	4	70
	(参考)網膜剥離及び裂孔	1	3.9	1	3	39
(12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患						
B①中耳炎	中耳炎	0.4	49.3	0	39	237
②急性・慢性副鼻腔炎	急性副鼻腔炎	0	32.7	0	26	146
	慢性副鼻腔炎	0.7	42.1	1	34	258
B③アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	0	80	0	64	557
④扁桃の急性・慢性炎症性疾患	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	0.7	86	1	69	219
	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	0.5	0.8	0	1	6
⑤外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物	—	—	—	—	—	—
	(参考)口内炎及び関連疾患	0.1	21.6	0	17	119
	(参考)メニエール病	0.3	10.5	0	8	83
	(参考)外耳炎	0.1	12.6	0	10	52
	(参考)口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	3.7	4	3	3	39

臨床研修 到達目標	平成23年10月 患者調査					
3 経験が求められる疾患・病態	患者調査傷病分類	推計入院患者数(千人)	推計外来患者数(千人)	入院受療率(人口10万対)	外来受療率(人口10万対)	総患者数(千人)
(13) 精神・神経系疾患						
①症状精神病	—	—	—	—	—	—
A②認知症(血管性認知症を含む。) 再掲	アルツハイマー病	41	32.3	33	26	366
	血管性及び詳細不明の認知症	39	12.3	31	10	146
③アルコール依存症	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の	12	4.7	10	4	43
A④気分障害(うつ病、躁うつ病を含む。)	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	29.1	74.5	23	59	958
A⑤統合失調症(精神分裂病)	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	174.1	60.6	139	48	713
⑥不安障害(パニック症候群)	—	—	—	—	—	—
B⑦身体表現性障害、ストレス関連障害	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性(参考)知的障害<精神遅滞>	5.6	47.4	4	38	571
		7.2	3.5	6	3	44
(14) 感染症						
B①ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)	インフルエンザ	0.1	0.8	0	1	2
	ヘルペスウイルス感染症	0.3	4.7	0	4	23
	水痘	0	2.5	0	2	7
	带状疱疹	1.2	10.3	1	8	45
	麻疹	0	0	0	0	0
	風疹	—	0.1	—	0	0
	ムンプス	0	2.1	0	2	7
B②細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア)	—	—	—	—	—	—
B③結核	呼吸器結核	3.3	1.7	3	1	22
	その他の結核	0.6	0.3	0	0	4
	結核の続発・後遺症	0.4	0.6	0	0	7
④真菌感染症(カンジダ症)	カンジダ症	0.1	9.3	0	7	49
⑤性感染症	梅毒	0.2	0.2	0	0	3
	淋菌感染症	—	0.3	—	0	2
⑥寄生虫疾患	その他の感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0.8	0.1	1	0	1
	その他の感染症及び寄生虫症	0.9	3.7	1	3	24
(15) 免疫・アレルギー疾患						
①全身性エリテマトーデスとその合併症	全身性エリテマトーデス<SLE>	0.8	3	1	2	42
B②慢性関節リウマチ	関節リウマチ	4.3	33.2	3	26	332
B③アレルギー疾患	—	—	—	—	—	—
(16) 物理・化学的因子による疾患						
①中毒(アルコール、薬物)	薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	0.4	0.2	0	0	1
②アナフィラキシー	—	—	—	—	—	—
③環境要因による疾患(熱中症、寒冷による障害)	—	—	—	—	—	—
B④熱傷	—	—	—	—	—	—
(17) 小児疾患						
B①小児けいれん性疾患	てんかん	7.1	16.1	6	13	216
	てんかん(15歳未満)	0.4	2.8	16	55	35
B②小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)	インフルエンザ(15歳未満)	0	0.3	0	6	0
	ヘルペスウイルス感染症(15歳未満)	0	0.6	0	15	3
	水痘(15歳未満)	0	2.4	0	67	6
	带状疱疹(15歳未満)	0	0.3	0	4	0
	麻疹(15歳未満)	0	—	—	—	—
	風疹(15歳未満)	—	—	—	—	—
	ムンプス(15歳未満)	0	1.8	0	39	6
③小児細菌感染症	—	—	—	—	—	—
B④小児喘息	喘息(15歳未満)	1.4	66.4	39	1661	469
⑤先天性心疾患	心臓の先天奇形	1.1	2.1	1	2	25
	心臓の先天奇形(15歳未満)	0.7	1.3	57	59	16
(18) 加齢と老化						
B①高齢者の栄養摂取障害	老衰	0.4	0.4	0	0	3
B②老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)	—	—	—	—	—	—